10月1日

10月3日



両島橋の完成祝う

国道257号と県道阿木大井線を東野で結ぶ市道袖畑笠 作線の阿木川に架かる両島橋の完成式典が行われまし た。地元の西尾義夫さん家族をはじめ東野小学校児童、 こども園児を含む関係者約200人が渡り初めを行い、橋 の完成を祝いました。総事業費は約2億6千万円。

笠置山で実りの秋を満喫



中野方町の笠置山栗園で収穫祭が開かれ、バザーやス タンプラリー、クリのつかみ取りなどの催しに市内外か ら500人の来場者でにぎわいました。クリを使った料理 のコンテストでは、瑞浪高校2年、西尾真衣さん(大井町) の「スイート栗ポテト」が最優秀作品に選ばれました。

琵琶とウードの共演に酔う



中山道ひし屋資料館で、秋月の宵筑前琵琶演奏会が開 催されました。この季節の風物詩となったこの演奏会は、 ことしで14回目。八百津町在住の琵琶奏者・田中旭泉 さんと中津川市在住のウード奏者・佐々木宏治さんの共 演に100人を超える来場者が酔いしれました。

地域医療の核として40年



9月26日

10月3日

国民健康保険上矢作病院が40周年を迎え、上矢作コ ミュニティセンターで記念式典が開かれました。式典 では上矢作小学校児童が演劇「嵐の夜の手術」を披露。 40年前、診療所として開設されたばかりの頃に起きた 実話を基にした、何よりも命を大切にする物語です。

岩村で古式豊かな伝統の行列



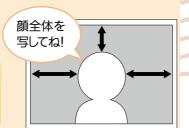
岩村本通りで秋祭り行事「神輿渡御行列」が行われま した。384年前から休むことなく続くこのお祭りは、平 安朝期の古式豊かな衣装を身にまとい、いにしえを思わ せる時代絵巻のような行列を整えるもの。総勢約350人、 400 にも及ぶ行列が通りを練り歩きました。

12月に1歳の誕生日を 迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく 1人で胸から上で顔全体が 「人で胸から上で顔主体か写っているもの)の裏に① 住所②氏名(ふりがな)③ 生年月日④性別⑤電話番号 ⑤両親の氏名⑦28字以内のコメント③ケーブルテレビ放映の可否一を添えて、 11月13日始までに申し込 んでください。

申し込み多数の場合は先 着順で掲載します。

□申し込み・問い合わせ 〒509-7292(住所不要) 総合政策課広報広聴係 ■26-2111 (内線324)





お恵人 届那と けのま し今ちまを व



NEWS& 10月11日

三郷野井の重箱獅子、若者が伝承し奉納



納めるも 0 地元 0

HAPPY BIRTHDAY

わが家のBABY 11月生まれ

,く大きくなっ! 元気にすく





上矢作町 小林 愛奈ちゃん 父 弘明さん 母 康予さん



父 周平さん 母 理江さん

安田湊くん

父 卓也さん 母 淳美さん

重富悠希くん 父 孝伸さん 育ってね♡



母さつきさん

父 僚太さん



磯部 紘高くん





ヽ育ってね☆ソ!!元気で明ゆづ♡おめで



父 剛志さん 母 裕美子さん

伊藤 結月希ちゃん







父 健さん





母 静恵さん

たてやびょうぶに複雑な模様や絵 な色や模様の木材を組み合わせて せて形を作る木工技術のことは、釘などを使わずに木を組寄せ木細工を制作している。 昔ながらの障子やふす 寄せ木細工は、さまざ これらを活用し、 上げる木工細工に 仕事の手が 趣味で組子 の手が空い が素すまが の構造が変

学ぼう伝えよう



願い込め組む木工細工

組子・寄せ木細工でびょうぶを制作

□プロフィル

昭和15年生まれ。本業の傍ら、20年程前 から組み木細工や寄せ木細工のびょうぶなど を趣味で制作。希望者は作品の見学も可。



恵那で輝いている旬な人を紹介します

中野方町1区 かみ ま きょうすけ 神尾 享資 さん 75歳

業で 業をひたすら続ける。 約1年5カ月をかけて からの復興を願う気持ちを込 っっ 精密で正確な かれた福 東日本大



▲思いを込めた作品は8枚にわたる大作

火入れに合わせフェアを開催



山岡陶業文化センターで登り窯の火入れに合わせ、「登 り窯フェア」が開かれました。会場では、マツタケご飯 や豚汁が格安で振る舞われ、ろくろの実演や陶器のバ ザー、足湯、ピザ焼き体験、バンド演奏などの催しを 700人の来場者が楽しみました。

剣を両手に獅子が舞う





笠置町毛呂窪蘇原神社の例大祭で市指定無形民俗文化 財「剣の舞」が奉納されました。紋付き袴姿の独身男性 が獅子頭をかぶり、神に供えた剣を両手に持ち、笛や太 鼓のはやしに合わせて舞う勇壮な舞です。見物客らは、 年に1度この神社で披露される舞に見入っていました。

10月15日



市総合計画審議会が開かれ、第2次総合計画の策定に ついて可知市長へ答申しました。審議会の西村会長は「寄 せられた市民の声を尊重し、多様な担い手による効果的 な政策の実施を要望します」と述べ、市長は「計画案に 基づいてまちづくりを進めていきたい」と応えました。

師子芝居で五穀豊穣を祈る

10月11日



山岡町下手向の白山比岸神社大祭で、県の無形民俗文 化財に指定されている獅子芝居が奉納されました。獅子 は嫁獅子のため、女性用の着物を着た演じ手が獅子頭を かぶり、五穀豊穣や無病息災などを祈りながら、唄と笛、 ↓ 太鼓に合わせて舞や歌舞伎のさわりを演じました。

ディさん木版画を語る

10月18日



木版画家としても活躍する歌手で女優のジュディ・オ ングさんのミニトークショーとサイン会が、中山道広重 美術館で開かれました。同館では、秋季特別企画展「ジュ ディ・オング倩玉木版画展 美の架け橋 広重・江戸百 景との競演」を12月6日まで開催しています。

認知症への関心を呼び掛け

10月18日



認知症の人や支援者、地域住民らがたすきをつなぎ、 ゴールを目指すイベント「恵那RUN伴+(PLUS) 2015」が開かれました。93チーム、743人が参加し、 オレンジ色のシャツを着ながらゴールの恵那市役所を目 指して、認知症への関心を呼び掛けました。



桜災地への寄贈を希望。びょうぶの地方の方を応援し元気づけたい」と、

か実現させたい」と尽力している。れるため現在も調整中だが、「何塩上特殊な展示や保存方法が求め

に見る者は圧倒させられる。

「東北

近くで見るとその精巧さ

















